

バリアフリーニュース (第12号)

2019年活動報告

令和元年度も小学生、公共交通事業者などを対象にバリアフリー教室を開催しました

国土交通省東北運輸局では、高齢者、障害のある方の社会参加を積極的に後押ししながら、みんなが行動しやすい環境づくりを目指した取組を行っております。

その取組みの一つである心のバリアフリー（お互いに理解し支え合う気持ち）の育成・促進を目的としたバリアフリー教室を令和元年度においては32回2,421名の皆様を対象に開催いたしました。以下、今年度開催のバリアフリー教室の一部をご紹介します。

- 開催日時：令和元年7月10日（水）、7月18日（木）
 - 開催場所：秋田市立上新城小学校、秋田市立大平小学校
 - 参加者：小学校3、4年生
 - 協力：秋田市、秋田県ハイヤー協会、秋田中央交通
- 体験項目としては、バス、タクシーを使用した高齢者と視覚障害者の体験を行っていただきました。児童からは、「体験ではバスやタクシーにスムーズに乗ることができたが、実際はもっと苦労すると思う。」などの感想をいただきました。



- 開催日時：令和元年8月22日（木）
- 開催場所：仙台第四合同庁舎 駐車場
- 参加者：東北運輸局職員
- 協力：仙台トヨペット（株）宮城県タクシー協会、
宮城県タクシー協会仙台地区総支部



昨年7月に開催された移動等円滑化評価会議東北分科会の中で、公共交通機関におけるハード面のバリアフリー化は進んでいるが、乗務員のバリアフリーに対する一層の理解浸透などについて意見が出されたことから、仙台トヨペット株式会社様にご協力いただき、UDタクシーであるJPNTAXIの実車体験会を実施いたしま

した。参加者からは「タクシーへ車いすを乗り降りさせるのがこんなに大変だと思わなかった。」「普段できない体験でとても勉強になった。」などの感想をいただきました。



- 開催日時：令和元年8月24日（土）、25日（日）
- 開催場所：仙台市役所前市民広場
- 参加者：イベント参加者
- 主催：バリアフリーみやぎ推進ネット
- 協力：東北福祉大学



24時間テレビ42宮城メイン会場でブースを出展するバリアフリーみやぎ推進ネット様のキャップハンディ体験のお手伝いに東北福祉大学の学生とともに当局が参加いたしました。体験項目は、車いす及び高齢者、妊婦体験そしてZINRIKI（人力車のようなもの）という四つの項目で、両日合わせて264名もの方々にお出でいただきました。参加者からは、「妊婦の方々などの大変さが分かったので、今後困っている方を見かけたら助けてあげたい。」などの感想をいただきました。

- 開催日時：令和元年9月14日（土）
- 開催場所：勾当台公園市民広場
- 参加者：宮城バスまつり参加者
- 主催：(公社)宮城県バス協会



公益社団法人宮城県バス協会主催の宮城バスまつりに参加しイベント参加者206名に高齢者、車いすそして反射神経を測るゲームという三つの体験を行っていただきました。参加者からは「体験を通してお年寄りなどが普段の暮らしでどれだけ苦労しているかが分かりました。」など感想をいただきました。

- 開催日時：令和元年11月21日（木）
- 開催場所：奥州市文化会館Zホール
- 参加者：岩手県内バス、タクシー乗務員
- 共催：岩手県バス協会、岩手県タクシー協会、岩手県社会福祉協議会



体験項目は、バス、タクシーを使用した高齢者及び車いす、視覚障害者体験を行っていただきました。参加者からは「今回の体験を通じ車いすの方々などの気持ちを少しですが理解できたと思うので、日々の業務に少しでも活かしていきたい」などの感想をいただきました。



- 開催日時：令和2年1月28日（火）
- 開催場所：仙台空港
- 参加者：空港関係職員
- 共催：東北地方整備局、名取市社会福祉協議会
- 協力：仙台国際空港（株）



体験項目は、車いす、視覚障害者の体験を行っていただきました。
参加者からは「今回の体験を通じ、車いすの方々などの気持ちを理解する良い機会になったので、これから適切な案内などができるよう努めたいと思います」という感想をいただきました。

- 開催日時：令和2年2月5日（水）
- 開催場所：奥飯坂穴原温泉 吉川屋
- 参加者：飯坂温泉旅館協同組合関係者
- 共催：NPO法人ふくしまバリアフリースーツア－センター
- 協力：飯坂温泉旅館協同組合、奥飯坂穴原温泉 吉川屋、福島市

体験項目は高齢者、車いす体験（リフトを使用したもの）を行いました。参加者からは、「高齢者、障害のある方大変さが分かりました。今後の業務に活かしていきたいと思います」などの感想をいただきました。



以上のとおり、令和元年度も様々な方々のたくさんのご協力をいただき、バリアフリー教室を開催することができました。2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、ますます国民の高齢者、障害のある方に対する理解が重要になって参ります。

国土交通省東北運輸局では、今後もバリアフリー教室など心のバリアフリーの啓発について積極的に取組みを進めて参りたいと思っております。

令和元年7月1日

第1回移動等円滑化評価会議 東北分科会を開催しました

平成30年5月にバリアフリー法が改正され、高齢者、障害者の視点を反映させながら、施設設置管理者・地方公共団体、そして国が協働して共生社会実現に取り組むこととなりました。その取組の状況について把握・評価を行うため、昨年2月に国土交通省において「第1回移動等円滑化評価会議」が開催され、この会議において、地域ごとの評価を行うことを目的として分科会の設置が決定し、本決定を受け第1回東北分科会を令和元年7月1日（月）に開催いたしました。委員は障害者・高齢者団体、障害当事者とそのご家族、JRなど施設設置管理者、行政機関など38名の構成で行われ、バリアフリー化の目標と達成状況の報告、これに対するご意見をいただきました。

会議では、障害のある方にとって公共交通機関を利用することの難しさ、公共交通機関従業員のバリアフリーに対する理解不足など私たち運輸局への耳の痛いご意見をいただきました。障害者の社会参加に積極的に取り組んでいる仙台市障害者福祉協会から当事者の役割が近年とても重要になってきているとの貴重なご意見をいただきました。

また、好事例として、仙台市が東西線を開業する際に建設初期から当事者の声が大きく反映され、協議・検討されていった結果、車いす利用者などが一人でホームへ向かい、電車への乗降、降車後の地上に出られる環境が整備されたとの事例の紹介があり、このような好事例を他の分野でも共有して欲しいというご意見がございました。

東北運輸局としては、高齢者・障害者などの貴重なご意見をいただくこの分科会という新たな仕組みを十分活用しながら、よりバリアフリー化の水準を高める取組を、今後も続けていきたいと思っております。

【日時】

令和元年7月1日（月）13：00～15：00

【場所】

東北地方整備局12階大会議室
（仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟）

【出席者】

有識者、高齢・障害者団体、施設設置管理者・関係協会、
関係行政機関など

【内容】

バリアフリー化の進展状況の把握・評価についてなど



第1回 移動等円滑化評価会議 東北分科会

http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-sub01_tohokubunkakai_1.html

令和2年1月16日

株式会社楽天野球団様へ 感謝状を贈呈

東北運輸局では、公共交通機関等のバリアフリー化の促進と、国民の皆様への意識啓発の一環としてバリアフリー教室の開催など、これまで様々な活動を実施してきました。また、平成30年5月からバリアフリー法が改正され、「心のバリアフリー」の重要性が一層強まり、2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、さらに取組を進めていかなければなりません。

そのような中、平成24年度から当局の主催するバリアフリー教室の開催に深いご理解のもとに参画いただき、管理する「楽天生命パーク宮城」をバリアフリー教室の会場としてご提供いただくなど、多年にわたり当局のバリアフリー施策に多大なるご理解とご協力をいただいている「株式会社楽天野球団」様へ感謝の意を表すため、令和2年1月16日に感謝状を贈呈しました。

贈呈式当日は、株式会社楽天野球団からマーケティング本部長 江副 翠 氏においでいただき、運輸局職員及びマスコミが見守る中、次長から感謝状が贈呈されました。

当局ではこれからも楽天野球団様をはじめ、地域の皆様にご協力をいただきながら、さらにバリアフリー施策を推進させていきたいと考えております。



【日時】

令和2年1月16日（木）14：00～

【場所】

東北運輸局 4階会議室（仙台第4合同庁舎）
（仙台市宮城野区鉄砲町1）

このニュースは、バリアフリー関係の話題を中心にお届けしています。お問い合わせがございましたら、下記までご連絡お願いいたします。



東北運輸局マスコット
「とうほくろっ犬」



東北運輸局
交通政策部消費者行政・情報課
〒983-8537
仙台市宮城野区鉄砲部町1番地
TEL:022-791-7513 FAX:022-791-7539